

- 1 会議名 議会運営委員会
- 2 日 時 令和5年1月13日（金）
開会 午前11時59分
閉会 午後0時15分
- 3 場 所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 （委員長）片岡健一郎、（副委員長）須藤智子
（委員）谷平敬子、宮川隆、榊谷規子
- 5 欠席委員 なし
- 6 出席議員 伊藤隆信議長、関戸郁文副議長、水野忠三議員、大野慎治議員
- 7 事務局 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 8 委員長あいさつ
- 9 議長あいさつ
- 10 協議事項

（1）令和5年3月（第1回）岩倉市議会定例会会期（案）について
議会事務局統括主査：資料に基づき説明

資料のとおり、会期（案）の一部を変更することに決した。

【質疑】

宮川委員：2日間予定されていた議案質疑であるが、半日削ることへの影響に関して、議会を優先するのか、卒業式を優先するのか、優先順位を間違えてはいけない。十分な議論の時間が確保されるのであれば問題ないが、議長の考えはどうか。

（音声不明瞭）

宮川委員：過去には小学校の卒業式を理由に休会にしていたところを午後に会議を開催したことがあったが、今回はそれとは違う。また、過去には3月1日の午後に議会を開催したこともある。執行機関等からも確認が取れて問題ないのであれば良いが。

片岡委員長：3月定例会の議案数はわかるか。

議会事務局統括主査：現在、各課に3月定例会に提出する議案の照会をされている。現時点では数や内容について整理中ではっきりとは答えられないと思われる。

宮川委員：当初（案）に比べて本会議の時間が削られて、その分を委員会審査で補うのであれば問題ないが、また、議案に対する多くの質疑を予定されている議員が納得されるのであれば特に反対するものではない。

（音声不明瞭）

宮川委員：午後に会議を開いたとして、質疑に時間を要するような難しい議

案が含まれるのであれば、17時までには散会する必要もないので、時間を延長してでも行うのであれば問題はないと考える。

片岡委員長：私も足りないところは延長してでも補うという考え方である。

議長のお考えはどうか。

伊藤議長：議案質疑1日目は午後からの開催であるが、2日目は終日確保できている。直近の実績から判断させていただくが、時間は十分にあると捉えている。

(音声不明瞭)

片岡委員長：会期(案)どおりの日程で、仮に1日半で議事日程が終わらないのであれば時間を延長してでも全ての議事日程を行っていききたい。この件に関して、ご異議はあるか。

各委員：異議なし。

須藤副委員長：卒業式の日程がわかったのはいつか。

議会事務局統括主査：今月に入ってからである。

片岡委員長：資料として配付されている会期(案)により3月定例会会期を進めて行きたいがご異議はあるか。

各委員：異議なし。

片岡委員長：本日の資料のとおり、3月定例会会期(案)に決する。

(2) その他

(令和4年度一般会計予算(議会費)に係る減額補正について)

議会事務局統括主査：今年度のすなわち令和4年度一般会計予算の議会費についてである。現在、3月定例会の議案について照会されており、予算において執行残が50万円以上見込まれるものは減額補正の対象であるとのことである。議会費についてもコロナ禍の影響により一定額の執行残が見込まれるものがある。議員活動費の特別旅費が該当するのだが、コロナ禍で常任委員会の行政調査は実施されたものの縮小開催となった。特別旅費のうち、常任委員会の行政調査分の執行残である約100万円を減額対象として挙げていきたいという相談である。

片岡委員長：来年度以降ではなく、今年度分の減額で来年度以降はこれまで同様の予算ということである。今年度末までに使い切る見込みが薄いことからの提案のようだ。

宮川委員：事務費というか必要経費を避けて約100万円削るということか。

議会事務局統括主査：特別旅費のうち常任委員会が調査に伺う目的の旅費は1人につき年間9万円、事務局職員を含め16名分の144万円という積算になっている。このうち使用したのは約28万円で100万円以上が残って

しまった。その余った分を減額したいがどうかということである。特別旅費は他に県内の出張程度の費用も含むが、そちらは削らずに残す予定で、何か急な視察等はそちらで賄うことができる。

片岡委員長：今の説明のとおり減額の方で挙げていくことにご異議はあるか。

各委員：異議なし。

片岡委員長：減額として挙げていく。

1 1 その他

特になし。